

修理報告書

松阪市 松浦武四郎記念館 所蔵
重要文化財 松浦武四郎関係資料 のうち

瀑布図（書画・器物類 69）	1 幅
「玉ほこの」詠草（書画・器物類 119）	1 幅

平成 31 年度（2019 年度）

株式会社 坂田墨珠堂

I. 工事の概要

重要文化財 松浦武四郎関係資料のうち、瀑布図（書画・器物類 69）1 幅、「玉ほこの」詠草（書画・器物類 119）1 幅の保存修理を施工した。

なお、本修理事業は文化庁文化財第一課（歴史資料部門）指導のもと、作品の形態や状況を考慮して過剰な処置を行わずオリジナルの保存に努めた修理を行った。また、使用する諸材料については、素性が明らか且つ可逆性に留意したものをを用いた。

1. 工期

平成 31 年（2019 年）4 月 12 日（着工）
令和 2 年（2020 年）年 3 月 6 日（竣工）

2. 施工者

株式会社 坂田墨珠堂
代表取締役 坂田さとこ
修理担当 嘉門一彦

3. 施工場所

株式会社 坂田墨珠堂 第 2 修理工房
滋賀県大津市小野 1144 番地の 1

II. 現状の報告

1. 名称・品質形状

重要文化財 松浦武四郎関係資料のうち

品質	資料名	形状	員数	指定番号
紙本墨画	瀑布図	掛幅装	1 幅	書画・器物類 69
紙本墨書	「玉ほこの」詠草	掛幅装	1 幅	書画・器物類 119

2. 指定年月日

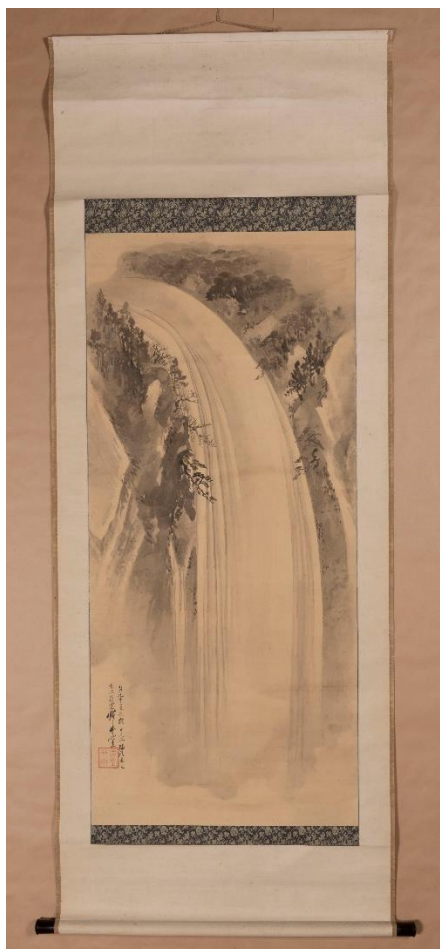
昭和 20 年 7 月 10 日

3. 所有者

松阪市 松浦武四郎記念館

Ⅲ. 資料別報告

指定番号	資料名	員数
書画・器物類 69	瀑布図	1 幅



修理前



修理後

1. 損傷状況等

- ・全体に暴れや折れが生じていた。
- ・表具が硬く、強く巻き癖がついていた。
- ・表装にシミや虫糞による汚損がみられた。
- ・総縁と太一文字の腰が合って折らず、境目に強い折れが生じていた。

2. 修理仕様

- ・旧裏打紙を全て除去し、新たな補修と裏打を施す本格解体修理を行った。
- ・現状の表装形式や雰囲気踏襲した掛幅装（紙表具）に仕立てた。
- ・表装裂は、一文字のみ再使用した。
- ・裏打紙および再使用に耐えない旧補修材は全て取り替えた。
- ・経年劣化等により再使用に耐えない表装、軸木、発装、座環、紐は新調し、軸首は汚れを拭き取り再使用した。
- ・桐製の屋郎箱、太巻添軸および中性紙製の外箱を新調し、本紙の収納形態を整えた。

3. 工法

1. 調査
 - ・写真撮影および本紙の状態調査を実施し、記録作成を行った。
2. 洗浄（乾式クリーニング）
 - ・本紙に堆積した埃や虫糞などの付着物を刷毛やピンセットを用いて除去した。
3. 剥落止め
 - ・墨の膠着力が低下していると認められる箇所について、膠水溶液（濃度 1～2%）を適宜回数塗布し剥落止めを行った。
4. 解体
 - ・旧表装部材（軸木・発装・座鐙・紐等）を取り外した後、ヘラを用いて筋を境に本紙・一文字と総縁・明朝とに取り外しを慎重に行った。
5. 旧裏打紙の除去
 - ・本紙裏面に濾過水¹⁾を用いて最小限の加湿を行い、旧総裏紙を除去した。
6. 洗浄（湿式クリーニング）
 - ・本紙に濾過水を噴霧し、溶け出た水溶性の汚れを下に敷いた吸水紙に吸着させて除去した。
7. 旧肌裏紙の除去
 - ・本紙に濾過水を用いた加湿を施し、旧肌裏紙を全て除去した。
8. 補修
 - ・本紙繊維組成試験²⁾および、本紙料紙調査に基づき補修紙を選択した。補修紙は、植物染料により染色調整し本紙欠損部に補填した。
9. 肌裏打ち（1層目の裏打ち）
 - ・楮紙（薄美濃紙）と小麦澱粉糊³⁾を用いて、本紙に肌裏打ちを施した。
10. 増裏打ち（2層目の裏打ち）
 - ・胡粉入り楮紙（美栖紙）と古糊⁴⁾を用いて、本紙に増裏打ちを施した。
11. 折伏せ
 - ・2～3 mm巾に切断した楮紙の帯を折損に添わせて接着して補強した。
12. 表装料紙の調整
 - ・一文字のみ再使用、総縁および明朝は新調した。
 - ・旧表装の色調や雰囲気を踏襲するため、新たな表装料紙（総縁）には藁・青檀繊維の混合紙、明朝には無地裂を選択し、これに植物染料を用いて染色調整した。
 - ・本紙と同様に表装料紙および表装裂に裏打ちを施し、厚みを整えた。
13. 付け廻し
 - ・本紙に一文字、総縁、明朝を接合した。
14. 中裏打ち（3層目の裏打ち）
 - ・胡粉入り楮紙（美栖紙）と古糊を用いて中裏打ちを施した。
15. 総裏打ち（4層目の裏打ち）
 - ・白土入り楮紙（宇陀紙）と古糊を用いて総裏打ちを施した後、仮張りにかけて表裏を十分に乾燥させた。
16. 仕上げ
 - ・新調した軸木・発装・座鐙・紐を取り付け、掛幅装に仕立てた。
 - ・軸首は汚れを拭き取り再使用した。
17. 保存処置
 - ・正絹羽二重包裂・桐製太巻添軸・桐製屋郎箱・中性紙製外箱を新調した。
 - ・本修理において取り外した旧表装部材は元箱に収め、新保存箱と共に中性紙保存箱に収納した。
18. 報告書の作成
 - ・使用した材料・処置内容等を記載した修理報告書を作成した。

【語句説明】

- 1) 濾過水：粒状活性炭及びポリプロピレン材フィルター（1 μ 径）にて濾過した水
- 2) 繊維組成試験：日本工業規格（JIS P8120 繊維組成試験）による
- 3) 小麦澱粉糊：小麦を原料とする澱粉糊（新糊/生麩糊とも言う）
- 4) 古糊：小麦澱粉糊を冷暗所にて約 10 年貯蔵した糊。接着力が弱く、柔軟な表装仕立てに不可欠な糊

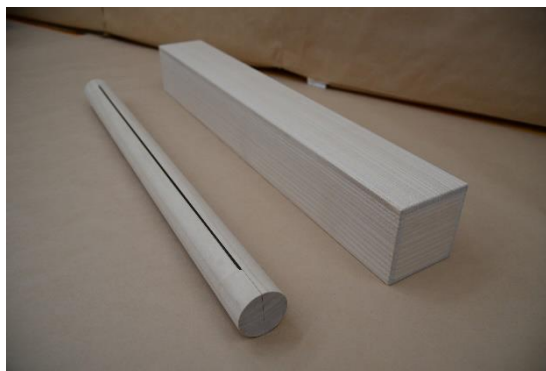
4. 使用材料の詳細

用途	名称（素材）	産地・製作等	加工
補修紙	竹紙	高知県／江洲栄貫	染色：矢車 媒染：木灰
肌裏紙	楮紙 （薄美濃紙）	岐阜県／太田弥八郎	染色：矢車 媒染：木灰
折伏せ	楮紙 （薄美濃紙）	岐阜県／鈴木竹久	—
増裏紙 中裏紙	胡粉入り楮紙 （美晒紙）	奈良県／上窪良二	—
総裏紙	土入り楮紙 （宇陀紙）	奈良県／福西弘行	染色：矢車 媒染：木灰
総縁（表装料紙）	藁・青檀繊維混合紙 （宣紙）	中華人民共和国／ 中国宣紙集团公司	染色：矢車・胡桃 媒染：木灰
明朝	茶地無地裂	京都府／榎鳥居	染色：矢車 媒染：炭酸カリウム
筋	楮紙 （薄美濃紙）	岐阜県／鈴木竹久	染色：墨
軸首	木製撥型軸（再使用）	—	—
座環	木瓜型	京都府：鋳屋(有)松田	—
発装	杉白太材 銀杏型	京都府：速水商店	—
軸木	杉白太材	京都府：速水商店	—
紐	正絹啄木組紐	京都府：速水商店	—
接着（補修/肌裏/ 折伏せ）	小麦澱粉糊	（原料購入先） 京都府：中村製糊	坂田墨珠堂
接着（増裏/中裏/ 総裏）	古糊	京都府：中村製糊	小麦澱粉糊を坂田墨 珠堂にて加工
接着補助	フノリ	京都府：吉田商店	—
保存箱	桐製屋郎箱	京都府：黒田工房	—
	桐製太巻添軸	京都府：黒田工房	—
包裂	正絹羽二重包裂	京都府：速水商店	—

5. 特記事項

保存収納形態等

- ・正絹羽二重包裂・桐製太巻添軸・桐製屋郎箱・中性紙製外箱を新調した。
- ・旧表装部材を元箱に収めた後、新旧の箱を新調した中性紙保存箱に一括収納した。



新調した桐製太巻添軸・桐製屋郎箱



新調した楮紙四方帙



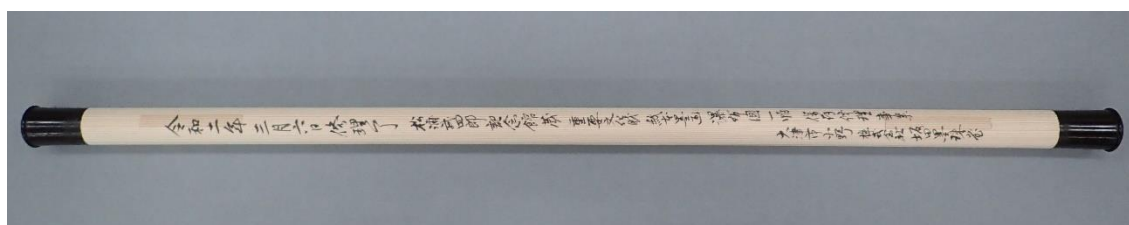
元箱と旧表装部材



中性紙製保存箱

新たな修理銘の記録

- ・新調した軸木（軸首は再使用）に修理銘を下記のとおり墨書した。



松浦武四郎記念館蔵 重要文化財 紙本墨画 瀑布図 一幅 保存修理事業
令和二年三月六日修理了
大津市小野 株式会社 坂田墨珠堂

6. 修理前後の記録

(全体寸法に上軸下軸は含まず)

基本情報／形態等		
品質	紙本墨画	
形状	掛幅装 (明朝表具)	
	修理前	修理後
本紙寸法 (cm)	61.3×135.9	61.8×137.1
全体寸法 (cm)	78.4×202.1	78.9×203.0
軸長 (cm)	87.5	88.1
軸径 (cm)	3.2	3.2
一文字	紺地唐草宝尽紋緞子	紺地唐草宝尽紋緞子 (再使用)
総縁	宣紙 (白茶染)	藁・青檀繊維混合紙 (新調)
筋	銀箔押楮紙	墨染楮紙 (新調)
明朝	茶地無地裂	茶地無地裂 (新調)
軸首	木製撥型軸	木製撥型軸 (再使用)
座・鑑	花菱型 (向かって右の座欠失)	木瓜型 (新調)
発装	杉材 銀杏型	杉白太材 銀杏型 (新調)
軸木	杉材	杉白太材 (新調)
啄木	組紐	正絹啄木組紐 (新調)
袱紗	—	正絹羽二重包裂 (新調)
保存箱	屋郎箱	桐製太巻添軸・桐製屋郎箱 (新調)
その他		
本紙料紙		
1 紙寸法 (cm)	61.8×137.1	
紙数	1 紙	
紙質	竹繊維 ※高知県立紙産業技術センター調べ (参考資料 成績報告書参照)	
簀目	23 本/3 cm	
糸目巾	1.8 cm	
厚み	本紙が脆弱であったため裏打ちを除去しての計測は行えなかった	

7. 修理前後写真



修理前（斜光）暴れや折れ



修理後



修理前 折れ



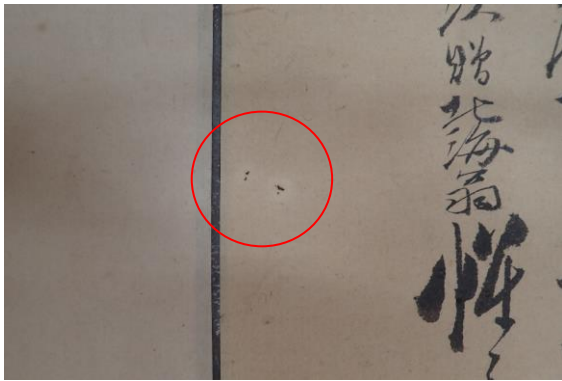
修理後



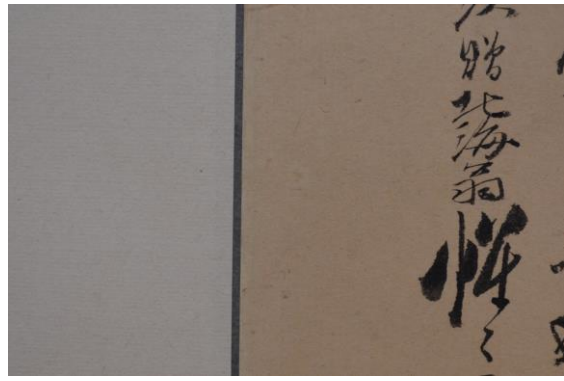
修理前 表装接合部の強い折れ



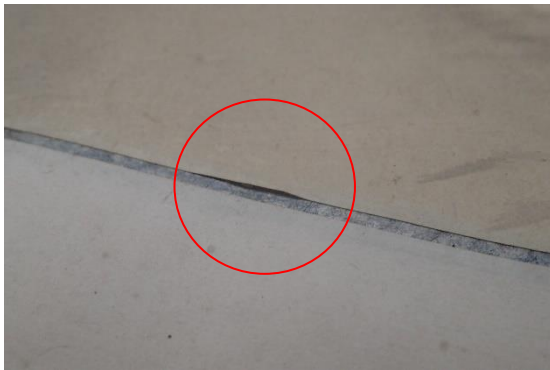
修理後



修理前 付着物



修理後



修理前 表装接合部の浮き



修理後



修理前 本紙料紙の欠失

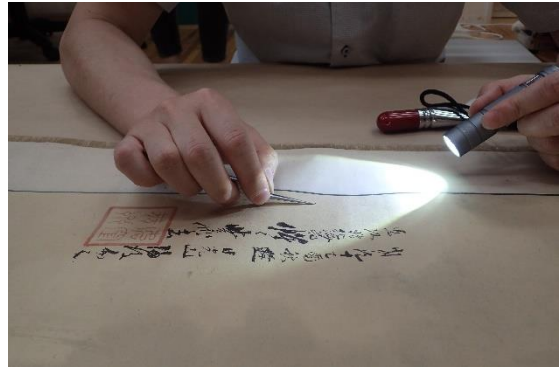


修理後

8. 工程写真 (抜粋) : 瀑布図



1 表装解体



2 洗浄 (乾式クリーニング)



3 剥落止め



4 総裏紙除去



5 洗浄 (湿式クリーニング)



5 洗浄 (湿式クリーニング) 染み出た汚れ



6 肌裏紙除去



7 補修紙補填



8 肌裏打ち



9 増裏打ち



10 付け廻し



11 中裏打ち

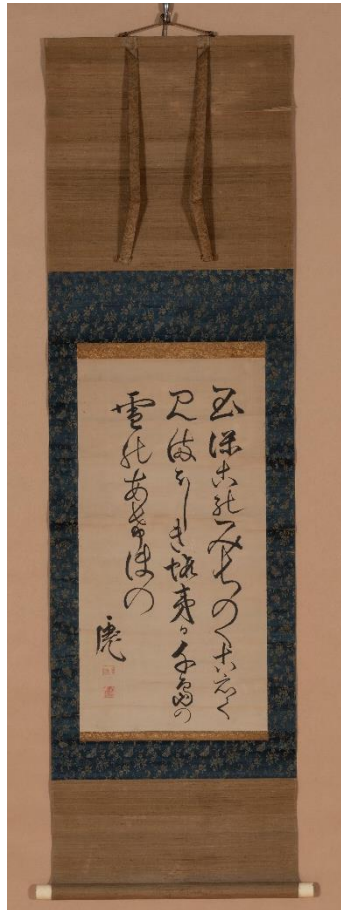


12 総裏打ち

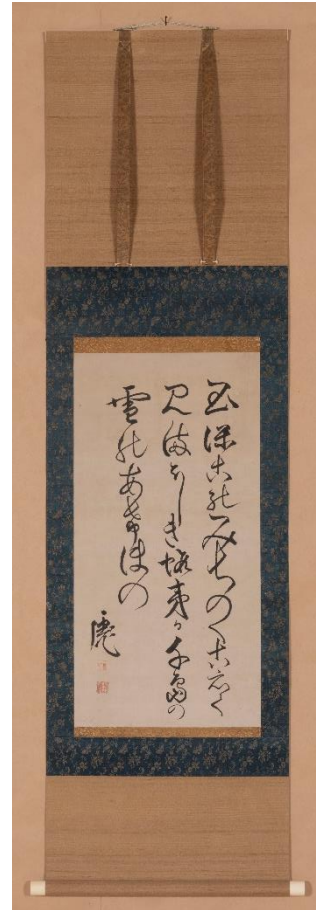


13 仕上げ

指定番号	資料名	員数
書画・器物類 119	「玉ほこの」詠草	1 幅



修理前



修理後

1. 損傷状況等

- ・横折れが著しく、将来的に亀裂が発生する恐れがあった。
- ・裏打層に浮きが多発していた。
- ・表装裂接合部に浮きがみられた。
- ・表装裂に汚損、摩耗、亀裂がみられた。

2. 修理仕様

- ・旧裏打紙を全て除去し、新たな補修と裏打を施す本格解体修理を行った。
- ・現状の表装形式や雰囲気や踏襲した掛幅装に仕立てた。
- ・表装裂は、風帯・一文字・中廻しを再使用、上下は再使用に耐えないため新調した。
- ・裏打紙および再使用に耐えない旧補修材は全て取り替えた。
- ・経年劣化等により再使用に耐えない軸首・軸木・発装・紐・座鐙は新調した。
- ・桐製の屋郎箱、太巻添軸および中性紙製の外箱を新調し、本紙の収納形態を整えた。

3. 工法

1. 調査
 - ・写真撮影および本紙の状態調査を実施し、記録作成を行った。
2. 洗浄（乾式クリーニング）
 - ・本紙に堆積した埃や虫糞などの付着物を刷毛やピンセットを用いて除去した。
3. 解体
 - ・旧表装部材（軸木・発装・座鐙・紐等）を取り外した。
4. 剥落止め
 - ・墨の膠着力が低下していると認められる箇所について、膠水溶液（濃度 1~2%）を適宜回数塗布し剥落止めを行った。
5. 旧裏打紙の除去
 - ・本紙裏面に濾過水¹⁾を用いて最小限の加湿を行い、旧総裏紙を除去した。
6. 洗浄（湿式クリーニング）
 - ・本紙に濾過水を噴霧し、溶け出た水溶性の汚れを下に敷いた吸水紙に吸着させて除去した。
7. 旧裏打紙の除去
 - ・本紙に濾過水を用いた加湿を施し、旧増裏紙、旧肌裏紙を全て除去した。
8. 補修
 - ・本紙繊維組成試験²⁾および、本紙料紙調査に基づき補修紙を選択した。補修紙は、植物染料により染色調整し本紙欠損部に補填した。
9. 肌裏打ち（1層目の裏打ち）
 - ・楮紙（薄美濃紙）と小麦澱粉糊³⁾を用いて、本紙に肌裏打ちを施した。
10. 増裏打ち（2層目の裏打ち）
 - ・胡粉入り楮紙（美栖紙）と古糊⁴⁾を用いて、本紙に増裏打ちを施した。
11. 折伏せ
 - ・2~3 mm巾に切断した楮紙の帯を折損に添わせて接着して補強した。
12. 表装裂の調整
 - ・風帯・一文字・中廻しを再使用、上下は新調した。
 - ・旧表装の色調や雰囲気を踏襲するため、新たな表装裂（上下）に植物染料を用いて染色調整した。
 - ・本紙と同様に表装裂に裏打ちを施し、厚みを整えた。
13. 付け廻し
 - ・本紙に表装裂を接合した。
14. 中裏打ち（3層目の裏打ち）
 - ・胡粉入り楮紙（美栖紙）と古糊を用いて中裏打ちを施した。
15. 総裏打ち（4層目の裏打ち）
 - ・白土入り楮紙（宇陀紙）と古糊を用いて総裏打ちを施した後、仮張りにかけて表裏を十分に乾燥させた。
16. 仕上げ
 - ・新調した軸首・軸木・発装・座鐙・紐を取り付け、掛幅装に仕立てた。
17. 保存処置
 - ・正絹羽二重包裂・桐製太巻添軸・桐製屋郎箱・中性紙製外箱を新調した。
 - ・本修理において取り外した旧表装部材は中性紙保存箱に収納した。
18. 報告書の作成
 - ・使用した材料・処置内容等を記載した修理報告書を作成した。

【語句説明】

- 1) 濾過水：粒状活性炭及びポリプロピレン材フィルター（1 μ 径）にて濾過した水
- 2) 繊維組成試験：日本工業規格（JIS P8120 繊維組成試験）による
- 3) 小麦澱粉糊：小麦を原料とする澱粉糊（新糊/生麩糊とも言う）
- 4) 古糊：小麦澱粉糊を冷暗所にて約 10 年貯蔵した糊。接着力が弱く、柔軟な表装仕立てに不可欠な糊

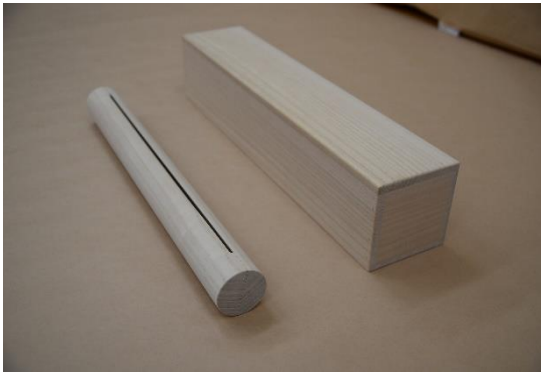
4. 使用材料の詳細

用途	名称（素材）	産地・製作等	加工
補修紙	藁・青檀繊維混合紙 （宣紙）	中華人民共和国/ 中国宣紙集团公司	染色：胡桃 媒染：木灰
肌裏紙	楮紙 （薄美濃紙）	岐阜県／鈴木竹久	染色：矢車 媒染：木灰
折伏せ	楮紙 （薄美濃紙）	岐阜県／鈴木竹久	—
増裏紙 中裏紙	胡粉入り楮紙 （美栖紙）	奈良県／上窪良二	—
総裏紙	土入り楮紙 （宇陀紙）	奈良県／福西弘行	染色：矢車 媒染：木灰
上下（表装裂）	茶地無地裂	京都府／榎鳥居	染色：矢車 媒染：炭酸カリウム
軸首	角軸	京都府：速水商店	—
座環	木瓜型	京都府：鋸屋街松田	—
発装	杉白太材 山丸型	京都府：速水商店	—
軸木	杉白太材	京都府：速水商店	—
紐	正絹啄木組紐	京都府：速水商店	—
接着（補修/肌裏/ 折伏せ）	小麦澱粉糊	（原料購入先） 京都府：中村製糊	坂田墨珠堂
接着（増裏/中裏/ 総裏）	古糊	京都府：中村製糊	小麦澱粉糊を坂田墨 珠堂にて加工
接着補助	フノリ	京都府：吉田商店	—
保存箱	桐製屋郎箱	京都府：黒田工房	—
	桐製太巻添軸	京都府：黒田工房	—
包裂	正絹羽二重包裂	京都府：速水商店	—

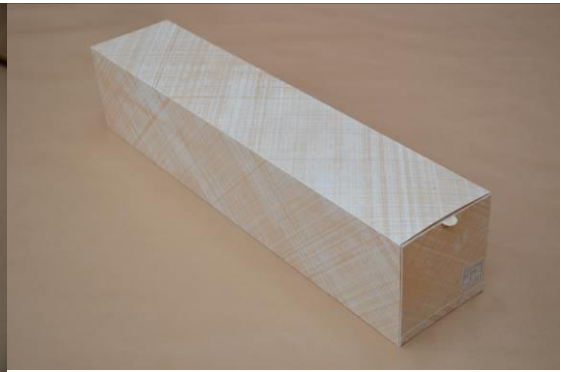
5. 特記事項

保存収納形態等

- ・正絹羽二重包裂・桐製太巻添軸・桐製屋郎箱・中性紙製外箱を新調した。
- ・旧上巻絹の発装際に墨書の貼紙がされていた。上巻絹の裏打紙を取り換え、畳紙に包み本紙と共に新保存箱に納入した。



新調した桐製太巻添軸・桐製屋郎箱



新調した楮紙四方帙



元箱と旧表装部材



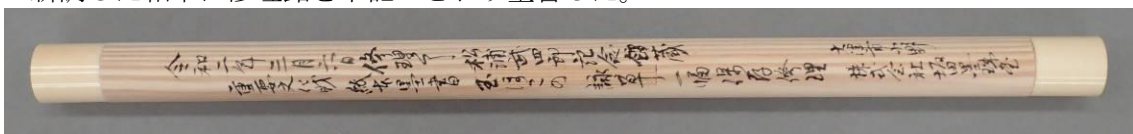
中性紙製保存箱



旧上巻絹の墨書貼紙

新たな修理銘の記録

- ・新調した軸木に修理銘を下記のとおり墨書した。



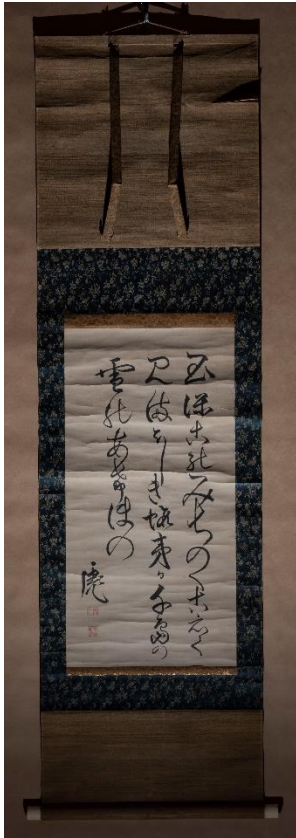
松浦武四郎記念館蔵 重要文化財 紙本墨書 「玉ほこの」詠草 一幅 保存修理事業
令和二年三月六日修理了
大津市小野 株式会社 坂田墨珠堂

6. 修理前後の記録

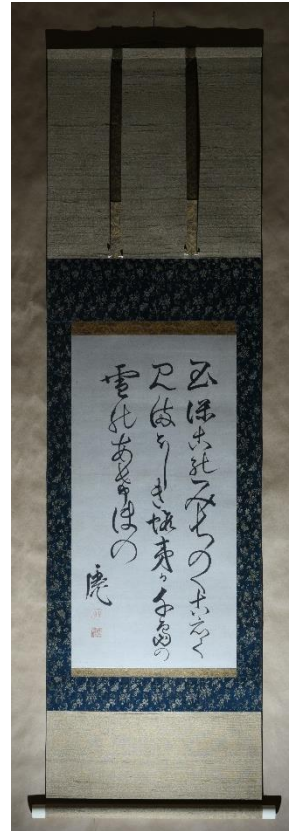
(全体寸法に上軸下軸は含まず)

基本情報／形態等		
品質	紙本墨書	
形状	掛幅装 (三段表具)	
	修理前	修理後
本紙寸法 (cm)	34.8×66.3	33.3×67.2
全体寸法 (cm)	43.6×148.5	43.5×151.2
軸長 (cm)	48.4	48.6
軸径 (cm)	2.6	2.8
一文字	茶地唐花鳳凰紋金襴	茶地唐花鳳凰紋金襴 (再使用)
中廻し	紺地花蝶紋銀糸入緞子	紺地花蝶紋銀糸入緞子 (再使用)
総縁	茶地無地裂	茶地無地裂 (新調)
風袋	茶地鳳凰龍唐花紋銀襴	茶地鳳凰龍唐花紋銀襴 (再使用)
軸首	角軸	角軸 (新調)
座・鐙	木瓜型	木瓜型 (新調)
発装	杉材 山丸型	杉白太材 山丸型 (新調)
軸木	杉材	杉白太材 (新調)
啄木	組紐	正絹啄木組紐 (新調)
袱紗	—	正絹羽二重包裂 (新調)
保存箱	屋郎箱	桐製太巻添軸・桐製屋郎箱 (新調)
その他		
本紙料紙		
1 紙寸法 (cm)	33.3×67.2	
紙数	1 紙	
紙質	青檀繊維と稲わら繊維の混合 ※高知県立紙産業技術センター調べ (参考資料 成績報告書参照)	
簀目	不明瞭	
糸目巾	2.5 cm	
厚み	本紙が脆弱であったため裏打ちを除去しての計測は行えなかった	

7. 修理前後写真



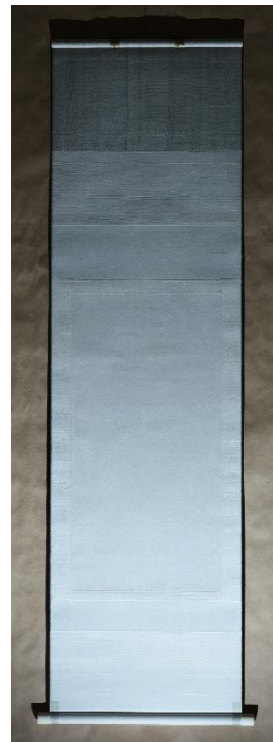
修理前（斜光）横折れ



修理後



修理前 裏面全図（斜光）横折れ及び浮き



修理後



修理前 横折れ



修理後



修理前 表装接合部の浮き



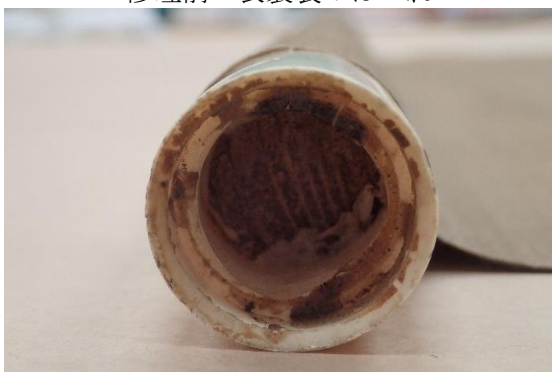
修理後



修理前 表装裂のほつれ



修理後



修理前 軸首



修理後 (新調)

8. 工程写真 (抜粋) : 「玉ほこの」 詠草



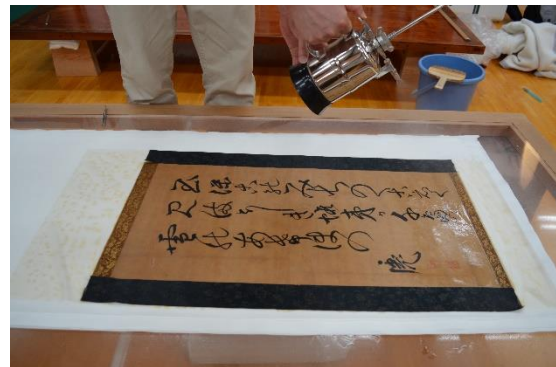
1 表装解体



2 洗浄 (乾式クリーニング)



3 総裏紙除去



4 洗浄 (湿式クリーニング)



4 洗浄 (湿式クリーニング) 染み出た汚れ



5 剥落止め



6 肌裏紙除去



7 補修紙補填



8 肌裏打ち



9 増裏打ち



10 付け廻し



11 中裏打ち



12 総裏打ち



13 仕上げ

参考資料



元高紙技第411号
令和2年2月14日

株式会社 坂田墨珠堂 様

高知県立紙産業技術センター所長 刈谷 学



成績報告書

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1 受付年月日及び受付番号 | 令和2年1月27日 | PTC第413号 |
| 2 供試品の名称、種類等 | 松浦武四郎関係資料 ほか | 計2種 |
| 3 依頼を受けた事項 | 繊維組成試験（光学） | 計1項目 |

上記の事項に対して行いました（試験）の成績は、下記のとおりです。

記

試料名	試験結果	備考
	繊維組成（光学顕微鏡による）	
松浦武四郎関係資料 瀑布図（書画・器物類69）	たけ繊維	JIS P 8120「紙、板紙及び パルプ—繊維組成試験方法」
松浦武四郎関係資料 「玉ほこの」詠草 （書画・器物類119）	青檀繊維と 稲わら繊維の混合	

以下 余白

【修理施工】

株式会社 坂田墨珠堂

代表取締役 坂田さとし

滋賀県大津市小野 1144-1

TEL:077(594)3447

FAX:077(594)3449

E-MAIL: info@bokujudo.com

Web Site: <http://www.bokujudo.com>

(報告書作製 令和2年3月5日)